

ページ	質問議員	質問事項
14	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> ●「空き家」問題への取り組み ●生活保護基準引き下げは町民生活に何をもたらすか ●就学援助制度の充実 ●いじめと体罰を教育現場から一掃するために
15	上野克也	<ul style="list-style-type: none"> ●国の平成24年度補正予算（地方自治体に関わる事項）について ●通学路などの安全対策や交通安全教育について ●中国から飛来している超微粒子状（PM2.5）について
15	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> ●脱原発に向けた省エネ、再生可能エネルギーの普及を ●社会保障制度改革推進法の町民への影響は ●認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）について ●認知症対応型共同生活介護施設について ●障がい者控除について ●地方公務員給与費の臨時特例と緊急課題への対応について ●地方公務員の雇用と年金の接続に関する制度について ●シルバー人材センターについて
16	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災計画の活用方法について ●伊奈の酒を利用した産業振興について ●伊奈まつりについて
16	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> ●学校給食と食物アレルギー ●保育所給食と食物アレルギー
17	毛塚真一	<ul style="list-style-type: none"> ●インフラ整備について ●介護予防施策について



一般質問に6人が登壇

3月定例議会では6人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を、質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。（5月下旬掲載）

▶伊奈町議会ホームページ

<http://gikai02.kaigiroku.jp/ina/>



○支給月
給食費以外は年3回。
原則として8月(4～8月分)、12月(9～12月分)、3月(1～3月分)に振込。
《5月以降に申請された方は、認定月分からとなります。》
給食費については、認定後、保護者が立て替えた分を保護者口座に振り込みます。その後は、毎月直接学校へ振り込みます。
※認定者の状況(未納がある場合など)によっては、支給できない場合があります。

○援助が受けられる所得の目安
世帯構成・年齢・持家かどうかにより異なります。また、住民登録上の世帯が別でも同居している方がいる場合は、その方の所得も含めて審査を行います。

世帯人数	世帯構成(年齢)	24年中の世帯総所得
2人	母(34)子(6)	180万円程度 ※
3人	父(37)母(34)子(6)	245万円程度 ※
4人	父(37)母(34)子(6・4)	290万円程度
5人	父(37)母(34)子(10・6・4)	340万円程度
6人	祖母(62)父(37)母(34)子(10・6・4)	390万円程度

※与所得者の場合、源泉徴収票の「給与控除後の金額」が目安になります。

上尾市の就学援助の説明資料では所得基準を明示

いじめと体罰を教育現場から一掃するために



おおさわ じゅん 議員
大沢 淳

生活保護基準引き下げはなにをもたらすか
問 生活保護基準引き下げの影響は。
答 住民税が従来非課税であった者が、課税に変

わることがある。
国民健康保険、保育料、介護保険料、就学援助、幼稚園就園奨励費補助金など、広い範囲で影響がある。

就学援助の充実
問 広報・周知の方法は。
答 町の広報誌、ホームページに掲載し新入学説明会でリーフレットを配布し説明する。
いじめと体罰をなくす
問 数値目標をやめること。

答 認知件数は指導に生かすための現状把握である認知したいじめについてはすべて解消できるように、また解消したと思われるいじめについても継続的に見届ける。
問 体罰は学校教育法違反であり、どんな場合でも認められない。
答 今後は実態調査をおこない、現状を把握していく。体罰禁止の趣旨を、よりいっそう周知徹底し、教職員の意識向上が図れるよう指導する。

自動車メーカーのカーナビの情報を活用した安全対策は。



うえのこくや
上野克也 議員

問 県教育委員会は、自動車メーカーの協力で、カーナビの情報を分析し登下校時の時間に記録した2種類の地図を作成し、市町村教育委員会に配布した。通学路や交通安全教育にどの様に活用す

るのか。

答 データは、速度や急ブレーキ発生個所を記録したもので、いな穂街道、東北新幹線側道、幹線道路との交差部分、新幹線側道との交差部分などがあり。このデータ結果を



いな穂街道

各小・中学校の児童生徒、

教職員、保護者等に周知し、今後PTAやボランティアの方々と連携を図りながら、安全な通学路確保、安全教育に努めていく。

国の平成24年度補正予算に該当する計画は。

問 「地域の元気臨時交付金」について、当町で該当する計画は。

答 「町道改修事業」の一部が「地域の元気臨時交付金」の対象となる可能性が有る。

中国から飛来する超微粒子状（PM2.5）について

問 PM2.5の情報と対応は。

答 県では、市町村にFAX等で連絡を入れ、町では住民への注意喚起を防災無線で対応する。

脱原発に向けた省エネ、再生エネルギーの普及を



みずかみくにお
水上邦雄 議員

問 災害時対応可能な公共施設に、太陽光発電の設置を。

答 施設の更新に合わせて設置していく。

問 調整池、遊休地の活用を。

答 他市町村の実例を参考に可能性を探っていく。

問 屋根貸し発電の組織化を。

答 公益的団体が行う共同発電を進めていく。

社会保障制度改革推進法について

問 住民への影響は。

答 国保財政や住民に新たな負担が生じないように

国の動向を注視していく

問 介護保険を利用できない人が出てくるのではないかと。

答 低所得者対策も含まれていると認識している。

シルバー人材センターについて

問 町内事業所と競合しない形で、発注増と補助金の増額を。

答 発注額は県内平均より高いが、生きがい対策の面もあり、適した業務を発注していく。補助金の増額は考えていない。

地方公務員給与費の臨時特例の対応は

問 地方公務員の給与費の削減は景気対策と逆行する。実施するべきではないと考えるが。

答 県及び各市町村の動向を注視していく。



水道課施設に2カ所目の太陽光発電システムを設置予定

伊奈の酒・伊奈備前守忠次を
活用した産業・農業振興を



うえのなほり
上野尚徳 議員

問 伊奈の酒・伊奈備前守忠次の販売状況、将来へのビジョンは。

答 先行販売した三百本はほぼ五日間で完売した。残りの七百本は11月に販売する。6次産業化の手

法により、地域産業の活性化や忠次公の顕彰活動にもつながるため、引き続き販売できるように生産者と協議していく。

問 先行予約等を受け付けリスクをできるだけ回



伊奈まつりに神輿を

避し増販体制をとってみてはどうか。また、他の町内産の米を使用し、姉妹品や酒を造り、セット販売や他の特産品との組み合わせ販売により町のPRにつなげてみては。

答 一年間様子を見て考えたい。インターネットでの販売準備も進めている。水道事業四十周年を記念して製造した「忠次水」をサービス品で付けることも考えている。

問 地域と町の一体感の向上、子育てしやすい町、安心安全なまちづくりにもつながる多世代間の交流、魅力あふれる町づくりのため、伊奈まつりに神輿をだしてみては。

答 町には町指定有形民俗文化財に指定された神輿があるが、担ぎ手が集まらない等の課題もある。地域の方々の意見を伺いながら検討していく。

学校給食と保育所給食の食物アレルギー



むらやままさひろ
村山正弘 議員

アレルギー保持数

問 小学生・中学生・町立保育所児の食物アレルギー保持数は何人か。

答 小学生29名・中学生13名・保育児7名である。

アレルギー発症を避ける

問 対象者のアレルギー把握及び給食別メニュー対応は行われているか。また、家庭弁当持参は認められているか。



伊奈中学校

答 小中学校では年度当初に「アレルギー疾患管理指導願」をもとに、保育所では栄養士を交えた保護者との面談でアレルギーを確認している。

別メニューは給食センターでは対応していないが、生徒・担任を中心に個別に対応している。

また保育所では除外食で対応している。

弁当持参については、学校・保育所とも認めている。

アナフィラキシー対応

問 エピペンを保持している小・中学生、保育児は何人か、又エピペン所持児のアレルゲンは何か。

答 エピペン保持は小学生1名で、アレルゲンは、玉子、魚介、キウイ、そばです。

調布市の女子児童の事故から質問した。

介護予防施策について



毛塚眞一 議員

ロコモティブシンドローム対策について

問 関節疾患「変形性膝関節症」が重症になると介護が必要になることが少なくない。要介護状態にならないための予防対

策は。

答 介護予防一次予防事業として、筋肉や関節機能の維持・向上を目的とした「元氣アップ教室」を実施。



構造や屋根がシンプルに一体化した伊奈町水道庁舎

介護見守りノートの啓発について

問 介護をうける高齢者が、安心して支援を受けやすくするために、日常の状態変化や発言・行動の様子を記録するノートの啓発は。

答 地域包括支援センターを中心に、認知症サポーター養成講座を実施。

今年度、北足立郡医師会等と協力し、もの忘れ相談医リストを作成。インフラ整備について

問 コスト削減のため、設計の段階から建築物のシンプルな形状や、利便性を考え、規格サイズ製品を検討することについて。答 維持管理や修繕コストに配慮した、施設の設計を行っていくことは、将来のランニングコストを考えた場合、必要なことであると認識している。

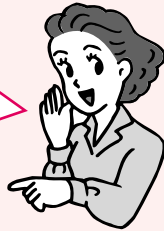
議会を傍聴してみませんか

議会の本会議を傍聴するときは、会議当日に議会事務局窓口で名簿に名前と住所をご記入のうえ傍聴券・資料をお受け取りいただいでから傍聴席にお入りください。

また、委員会の傍聴につきましては、委員長の許可制になっておりますので事前に申し込みが必要で

す。なお、本会議・委員会ともに、傍聴席の数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

次の議会は



次回の定例議会の開催予定日は、

6月4日(火)です。

詳しい日程は5月下旬に決定します。

